小樽市総連合町会

コミュニティ

令和5年4月
No.221

発行／小樽市総連合町会　〒047-0033 小樽市富岡1丁目5-10 総合福祉センター内
TEL／FAX　24-1933　E-mail sourengo.jm@bz04.plala.or.jp

●「令和５年度　定期総会」は書面開催となります

１月27日(金)に、総合福祉センター ４階研修室において「令和４年度第４回理事会」が開催され、「令和５年度定期総会」の開催について協議しました。新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが、５月から季節性インフルエンザと同じ「５類」へ引き下がる見通しではありますが、100人以上が出席する会議の開催には慎重を要するとの判断から、前回に引き続き、定期総会を書面開催とすることで決定しました。

定期総会に係る議案等については、５月上旬に各町会に発送し、下旬頃に議決されるよう事務手続きを進める予定です。町会の皆さまには、お手数をおかけしますが、以上の状況をご理解いただきますようお願い申し上げます。

●除雪に関する意見交換会

本年２月２日(木)に、市別館３階の議会第２委員会室で午後２時から、標記の会議が開催されました。

まず、近年の累積降雪量、最深積雪深などの数値や除雪費の推移などの説明があり、その後、グレーダ、タイヤドーザ、小型ロータリが実際に車道や歩道の除雪作業している状況の動画が上映されました。

最後に意見交換会として、出席者の地域の実態や改善策の要望(置き雪対策、道路通行の有効幅の確保)など、活発な意見が交わされました。

●コミュニティリーダー養成研修会

２月22日(水)に、午後１時30分から市消防庁舎６階講堂において「令和４年度コミュニティリーダー養成研修会」が開催されました。講師は、北海道科学技術大学の出口寿久教授で、「これからの地域のまちづくり」と題して、地域づくりが求められる背景や町内会が抱える課題と対策、地方創生で取り組まれている地域づくりを紹介しながら、これからは、将来世代のための地域づくりが重要であるとのお話がありました。

参加者は、事例紹介などから、自分の町会でも生かせないかとメモをとるなど熱心に聞いていました。

(同大学(短期大学部含む)と小樽市は平成30年に、地域の発展と人材育成及び学術の振興に寄与することを目的に包括連携に関する協定書を締結しております。)

☜ 総連合町会「コミュニティ」の記事は裏面に続きます。

●各町会の取組事例を紹介します

1　スマホ教室及び健康教室（新潮町会）

スマホ教室

昨年11月27日(日)に、午後１時30分から新潮会館でスマホ教室を初めて開催しました。「スマホ教室ｉｎ小樽の町内会実行委員会」のメンバーである札幌学院大学生が、参加者が持っているスマホの機種に応じて、一対一で操作方法等を教えてくれるもので、参加者からは丁寧でわかりやすいと大変好評でした。

12月10（土)に同会館で開催された健康教室では、小樽市南部地域包括支援センターの職員の方々が、自分自身のコンディションをゼロに戻す「ゼロ・フォームズ」をはじめブロックやボールを使用した運動を楽しみながら行いました。佐々木会長からは、スマホ教室の参加者の中から町会活動のお手伝いを申し出る方が出てくるなど、改めて人のつながりの大切さを感じたとのお話がありました。

2　防災研修会（東小樽町会、入船六三町会、石山町会）

胸部圧迫訓練

昨年９月22日(木)に、東小樽町会(西野会長)で「小樽市の防災体制とわが家の防災対策」と題して、市総務部災害対策室職員を講師に迎え防災講話が開催されました。

10月１日(土)には、入船六三町会(山内会長)主催の防災研修会が行われ、防災講話とともに、アルファ米などの非常食を試食しました。

10月30日(日)には、石山町会(荒谷会長)主催で、防災研修会が開催され、ＡＥＤの作動や胸部圧迫訓練、簡易ベッドの組立など実戦さながらの研修が実施されました。

みそ汁とアルファ米

3　消防職場見学会（桂岡町内会）

１月13日(金)に、桂岡女性防火クラブの企画・協力により、小樽消防本部勝納消防署において、標記の見学会が実施されました。内容は、出動訓練の見学や消防士の１日紹介のほか、消防長が消防への疑問、質問に対して回答してくれました。特に、消防車両５台による出動訓練では、「何が起きたのか、びっくりした。」と、迫力ある訓練の様子に子どもたちは目を見張っていました。

4　町内会・自治会広報コンクール(インターネット部門)特別賞(桂岡町内会)

北海道町内会連合会が４年に１度実施している標記コンクール(広報誌部門、インターネット部門の２部門)」において、桂岡町内会(西谷会長)が開設しているホームページによる広報活動に対して特別賞が授与されました。おめでとうございます。(https://katsuraoka047.wordpress.com/)

なお、本コンクールには、全道から広報誌部門では、７区８市３町で50作品(うち赤岩町会、桂岡町内会、共睦町会、幸町会の４町会を含む。)の応募が、また、インターネット部門では、２区７市で９作品(うち桂岡町内会を含む。)の応募がありました。